自衛官としてのスタート!



第618号 令和6年5月発行

「地域と共に」

令和六年四月十三日、桜満開の | くれた君たちに感謝をしたい。こ を要望し、自衛官候補生の門出 一受ける中で、自分を信じ進んでい を祝った。 衛官としての第一歩である教育を れから約三ヶ月、米子駐屯地で自 「同期の絆を大切にせよ」の三点 もらいたい。」と述べ、入隊にあたり 「元気」「向き不向きより前向き」 く信念をもって教育に取り組んで が貸与された。

隊式を挙行した。

式には衆議院議員

令和六年度自衛官候補生課程入 隊長(一等陸佐 阿部 正昭)は、 米子駐屯地において第八普通科連

職業の中で陸上自衛隊官を選んで | 衛官候補生の着隊から入隊式まで しぶりの再会で話に花が咲く様子 食堂において行われ、御家族と自 が見られ良き門出となった。 衛官候補生は、食事をしながら久 入隊式後は、記念会食が隊員

により、自衛官候補生全員が宣

常松 悠音自衛官候補生の先導 補生が代表して申告するとともに

誓を力強く行った。

連隊長は式辞において、「数ある

及び訓練を受けたのちに して必要な基礎的な教育 れ、それぞれの職種・任地 二等陸士の階級が与えら 月にわたり陸上自衛官と へ配置されることとなる。 自衛官候補生は、約三ヶ

る中粛々と入隊式が挙行された。

式では、吉田 烈穏自衛官候

はじめ、部内外から多数の御来賓

|様、米子市長 伊木 隆司様を

の参列を賜り隊員御家族が見守



れからの三ヶ月の教育をと 力強く述べた。 きます。」と決意の言葉を の動画が放映されたのち、 が「これから直面する様々 竹内 愛菜自衛官候補生 の言葉を頂いた。その後、 佐藤 孝子様よりお祝い 島根県自衛隊家族会会長 人となれるよう努力してい き、立派な自衛官・社会 な困難にも、仲間ととも に立ち向かい乗り越えてい 入隊式終了後には、こ



きで、歴史に関わる職業に興味が

を守れるからです。 私は歴史が好

私の入隊の動機は、日本の歴史

あり全てが難しく感じます。

ベットメイクも徐々にですが早く

あり警察官を目指していました。

けられるようになりたいです。

現在の大きな目標として、

どの都道府県警を受験しようか









私は昔から自分に自信が無く、

がると思い、入隊を志願しました。

現在は、覚えることもたくさんす。

れることを知り、今の日本を守る からの説明を受け自衛隊は国を守 力本部の存在を知り、広報官の方 迷っていた時に、自衛隊の地方協

せたいです。

一日でも早くこの生活に慣れ、

ことが日本の歴史を守ることに繋

鬼塚ののか

隊記念

が、覚えることが多く様々なルー

着隊して数日が経過しました

が本当に素晴らしかったと話して た際、自衛隊の行動力と統率力 父が消防士であり災害派遣に行っ いたことがきっかけでした。 そこから私は、インターネット 私が自衛隊に入隊した動機は、 り、教えていただきました。

し、体調不良にもなり出遅れてし 着隊後は、慣れない生活に苦労

いと思います。

で、興味が湧き入隊を決断しま

班長に教えていただき、この先何

があっても同期を大切にしていきた

や自衛隊の方に実際に話を聞く中

なりましたが、その時に同期や助 中で、自分は何も分からず不安に まいました。 同期は点呼や朝礼の 教の方が優しく声をかけてくださ 行動などをスムーズにこなしていく

動していきたいと思います。 余裕ができてくると思うので、いろ がこれから慣れていけば自分にも いろなことに挑戦し、積極的に行 また、仲間を大切にすることを 今は、目の前の事で精一杯です

生活、集団行動といった慣れない 環境に日々苦労しています。 ルがある中で行動する大変さや寮

見て、良い部分をたくさん吸収し るように頑張っていきたいと思いま 会人として自覚をもって行動でき 自衛官としてもですが、一人の社 学んでいきたいと思います。 中で、少しでも早く環境に慣れて そして、最初の区切りとして約 また、助教の方々や同期をよく これから様々な訓練を行っていく

所

ネガティブで考え過ぎ、よく悩む

性格でありそんな自分自身を変

た。また、学生の時には海外ボラ

えたくて自衛隊の入隊を決めまし

手伝いをした経験があり、誰かの

ンティアや様々なシンポジウムのお

を感じたのも自衛隊に入隊を決意 ために働くことに魅力とやりがい

三ヶ月の教育をまずは乗り切るこ

とを目標に頑張っていきたいと思い

したきっかけです。









長 人

ては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

方におかれまし 族、地域の皆様 隊隊員及びご家 駐屯地所在部

この度、令和六年三月十八日付で第八普通科連隊第

一中隊長を拝命した宮澤一尉と申します。

霊峰大山を望む風光明媚なこの米子の地で、歴史と



本管中隊長 等陸尉 長谷川豊人 在隊員及びご え、駐屯地所 かな季節を迎

家族、地域の

連隊本部管理中隊長を拝命いたしました長谷川と申し この度、令和六年三月十八日付をもって第八普通科

上げます

勤務できることは大変うれしい気持ちであるとともに、 とても愛着のある中隊です。この中隊に中隊長として 幹部)として三年間勤務させていただいたこともあり、 では平成二十九年三月から重迫撃砲小隊長(運用訓練 その重責に身の引き締まる思いです。 八普通科連隊で勤務しています。この間、本部管理中隊 私は、平成二十七年三月からこの歴史と伝統のある第

本部管理中隊は、各小隊がそれぞれ異なる機能を持つ



述べた。

を挙行した。

部管理中隊、第二中隊及び第三中隊の中隊長着任行事

第八普通科連隊は、三月十八日米子駐屯地において本

部一佐からの紹介を受け、中隊の隊員に対し着任の辞を

それぞれの新着任中隊長は、第八普通科連隊長

部隊を指揮する。

培ってきた伝統を継承しつつ、更なる強い中隊を目指し

着任したそれぞれの中隊長は、これまで中隊の隊員が

中隊の状況を速やかに確認した。

居住する営内及び物品が保管されている倉庫などを巡視

その後、中隊の状況把握のため、中隊事務所、隊員の

三等陸佐

高橋

宏幸

の皆様方におか 及びご家族、地域 駐屯地所在隊員 温かくなる中で、 春の陽ざしが

屯地及び第八普通科連隊の隊員は真面目で職務にひた

むきに取り組む精強な部隊であると聞いていました。 着

地方での勤務は初めてとなります。転属前から米子駐

ある第八普通科連隊及び米子駐屯地の一員として勤務 三中隊長を拝命しました高橋三佐です。 歴史と伝統の この度、令和六年三月十八日付で第八普通科連隊第 及び米子市の住民の方々や文化に触れて勤務の励みにし きると感じています。これから様々な行事を通じて鳥取 な地域で自衛隊に理解があり大変良いところで勤務がで ろであります。 任後に隊員と勤務を共にする中で日々実感しているとこ 山陰は遠くに大山を望み、日本海に面して風光明媚

きたいと思います。今後とも、ご指導、ご鞭撻を賜りま すようによろしくお願いいたします。 任務が達成できるように技術や戦い方の変化に対応して 方が築いてこられた伝統を継承して、部隊として確実に 任務達成ができるように隊員とともに考えて実行してい 第八普通科連隊第三中隊長として、これまで諸先輩

学校(前川原)、富士学校(富士)の勤務であり、山陰

私はこれまで第十二普通科連隊(国分)、幹部候補生

中隊長をさせて頂くことに緊張するとともにやりがいを

氏の方々から我々自衛官に寄せられる期待が大きい中で

近年の国際情勢や国内の災害派遣等で国民、地域住

できることを大変嬉しく思っております。

ていきたいと思います。

感じているところであります。

かしさを感じています。 子の街並みや気候風土、地域の方々の人情味にどこか懐 の勤務は初級幹部時代を過ごした金沢駐屯地での勤務 に引き続き2回目であり、着任間もないこの頃ですが米

等陸尉

悠

緑の

できる中隊を目標に、隊員とともに精錬に励み、日々能 ひとりにほかなりません。中隊長として、隊員ひとりひ 事実を改めて私たちに認識させました。現在、防衛省・自 職種・普通科中隊の能力の骨幹は、所属する隊員ひとり 力向上に努める所存です。 様々な取り組みを行っています。その中で私たち普通科 とりが輝ける中隊、事に臨んでは確実にその責務を完遂 衛隊はその能力構築のため、部隊改編や新装備の導入等 めには「意志」だけではなく「能力」が必須であるという さて、昨今の国際情勢は、国家の平和と独立の維持のた

とご協力をお願い申し上げて、着任の挨拶といたします。 隊員ご家族の皆様、地域の皆様方に引き続きのご理解

の勤務は初めてとなります。一方で日本海側・降雪地域で

十四普通科連隊(金沢)、教育訓練研究本部(目黒)、陸

私のこれまでの勤務歴は、東部方面航空隊(立川)、第

上総隊司令部運用部(朝霞)であり、今回の山陰地方で

責に身の引き締まる思いです。

会に恵まれたことを大変嬉しく感じるとともに、その重 伝統ある第八普通科連隊で中隊長として勤務できる機

皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し 薫風さわや 任務達成に寄与できるよう、 信頼される直轄小隊を創造していく所存です。 積極的に新しいことに挑戦し今よりも更に各中隊から 中、多様な任務にこの各機能を最大限発揮し、連隊の ている特性があります。昨今の厳しい安全保障環境の あらゆる事態を想定して

ますが、自衛隊の任務に対しご理解くださいますよう 力をお願いします。また、平素の任務である訓練演習 お願い申し上げます。 等において長期間、家族のもとを離れることも多々あり、 隊員ご家族の皆様方にご迷惑をおかけすることがござい 密接な連携が必要不可欠でありますので引き続きの協 このため、各中隊を始めとする駐屯地所在部隊との

う隊員とともに成長していきたいと思います。 理中隊の隊風である「獅子奮迅」のごとく実行できるよ 方の築きあげて来られた良き伝統を継承しつつ、本部管 第八普通科連隊本部管理中隊長として、これまで先輩 少りますようよろしく

| お願いいたします。 | 今後とも こ指導 |
|-----------|----------|
| | こ鞭撻を賜 |

救急

駐 地 般

開

放

団結!

規律!

!

隊内生活体験

屯地一般開放を行った。 三月三十日、米子駐屯地は駐|者を迎えることができた。 般開放を行うにあたり、駐

屯地近傍にある施設や公民館等 広報を行い、約四百六十名の来場 駐屯地HPやSNS等を活用した にポスターを掲示させていただき、

| 験や部外業者から本イベントに屋 台を出店していただいた。 高機動車の体験試乗、鳥取地方 協力本部によるミニ制服の試着体 では連隊が保有する車両の展示、 当日は晴天にも恵まれ、催し物

地」を目指しこれからも精進して

ら信頼され、「また来たい米子駐屯 する理解を深めるとともに地域か なかったものの、多数の来場者に りを見せた。 の活気によりイベントは盛り上が お越しいただき、来場者及び隊員 残念ながら桜の開花は間に合わ 駐屯地は今後も、自衛隊に対

体験を行った。

間、米子駐屯地において隊内生活

生活を通じて団結・規律・士気を

入社員に対し自衛隊の訓練・営内

訓練等を行った。

この生活体験は、民間企業の新

養うことを目的として毎年新入

| 自衛隊での生活や訓練に真剣に向

参加した新入社員は、慣れない

き合い、特に最終日の徒歩行進訓

練では、重量のある背嚢を背負っ

て最後まで相互に声を掛け合いな





車搭乗 訓 練

隊は、三月上旬から下旬にかけ、 西部消防局米子消防署に依頼し 衛生科職種の隊員に対し、鳥取県 救急車搭乗訓練を実施した。 この訓練は、実際に救急車に搭 われた。

| 法を実施し、相乗効果もあり、衛 | 処置要領等を研修するとともに、 現場を体感した。 生科隊員として実戦に近い医療の 心肺停止の患者に対して心肺蘇生

乗し救急隊が実施する救急医療の

実相を衛生科隊員に体験させ、救

第八普通科連隊 本部管理中 | 急処置能力の向上を目的として行 隊員は、救急患者に対する観察・ | 火災現場を想定した消火訓練等 目指していく。 るべき姿」を追求し更なる高みを 出向き、衛生科隊員としての「あ を研修させていただいた。 隊員は今後もさまざまな現場に









銃剣道体験授業を支援 また、自衛隊のOBであり現在

修、救急救命士等による訓練及び

佐も訓練を視察し、救急車の研 また、第八普通科連隊長 阿部

校の生徒約百五十名に対し銃剣 験授業を行ったのは、県内でも初 に所在する北斗中学校・高等学 旬から三月中旬にかけて、米子市 鳥取県の中高生が銃剣道の体 連隊銃剣道訓練隊は、二月下 | 隊とともに、講師として学生達に |める瀬尾 憲次氏も連隊の訓練 うな学生達の姿が見えた。 は鳥取県銃剣道連盟副会長を務 銃剣道の基礎などを教え、楽しそ

道体験授業を支援した。

材を行った。

この体験授業には、本部管理中



消火訓練研修





三月十七日から十九日までの | ネストの十九歳から二十代前半の |新入社員に対し、二泊三日の隊内 基本教練、障害走及び徒歩行進 生活体験を行い、駐屯地の説明、 ていきたいです。」と感想を語った。 |で感じ、この経験を仕事に活かし 員は、「チームワークの大切さを肌 三日間の訓練を終えた新入社

指し今後も訓練に励んでいく。

携を図りつつ信頼される部隊を目 社員の姿に目を細めて駐屯地をあ 当者も、三日間で成長した新入 駐屯地は今後も、地域との連 終了式に後に出迎えた企業の担

力を伝えるとともに募集広報にも おり、隊員家族を含め貴重な体隊 小林二曹の娘さんも参加して 繋がった。 験をすることができ、銃剣道の魅

剣道の知名度向上と競技人口の拡を出すことはもちろんのこと、銃 大にも努めていく。 訓練隊は今後も大会での成果

隊 友 会 活 動 報告を 実 施

地において第八普通科連隊最先任 は令和六年三月四日、米子駐屯 動報告を実施した。 上級曹長小谷一哉准尉他、各中 隊先任曹長等に対して隊友会の活

提供を申し込んだものである。 つき連隊(駐屯地)に報告機会の 活動の一環であり、陸幕通達に基 これは鳥取県隊友会の会勢拡大

る現状を説明した。また参加し の清掃奉仕などの写真を織り込 行進訓練の現地激励、 海自艦艇入港時の艦長激励、 釣り人の人命救助による功績で海 隊員への入会の働きかけを要請し フレットを配付し、退職を控えた た各中隊先任曹長等に隊友会パン み、部隊に密着した支援をしてい 部隊への災害派遣激励、 説明し、県内での防災訓練支援や 陸軍墓地 生地徒歩 各

鳥取県隊友会 (会長 : 山本洋) | 屯地OBでもある会員の善行を紹 介した。

一ている。 ぜひ入会して一緒に活動 の飯を食った仲間としての絆とご 締めくくった。 縁を大切にし、お世話になった部 しましょう。」と呼びかけて報告を 隊に恩返しの気持ちで活動を行っ 最後に、「我々隊友会は、同じ釜

(文責:事務局長 西田勝造)



上保安本部長より表彰された駐

駐屯地会計隊は、米子駐屯地 | 特技課程「会計」を修了後から

会

計

隊

特

技

検

会計隊の特技検定は、新隊員

において「初級会計」の特技検定 | 約六ヶ月以上経過した者に対し受 | 隊からは、昨年四月に入隊した小 検資格が与えられ、駐屯地会計 黒一士、尾添一士、黒田一士

基準に達し「初級会計」の 特技を取得した。 技検定に挑んだ。 結果は、三名とも合格

の三名が「初級会計」の特

で見事合格し、駐屯地会 受検者の中でトップの成績 中部方面隊の「初級会計 計隊の存在を方面管内にア 特に小黒一士については、

駐屯地を支えるとともに、 輩育成に努めていく。 績上位者を育成すべく後 小黒|士に続き、来年も成 今後も駐屯地会計隊は、

駐屯地

予 開 備催 日日 8月7日(水) 8月6日(火)

所 米子駐屯地グラウンド

場

イベント情報 隊員による余興、太鼓、屋台、子供コー ナー、花火など各種催し物(現在調整中)

※駐車場は現在調整中ですが、混雑が予想されますので、出来 る限り乗り合わせてご来場いただくか、公共交通機関をご利用

※内容は変更になる場合がございます。 詳しくは米子駐屯地HP 下さい

又はSNSをご確認ください。



表 彰

学校長賞 幹部普通英語課程

連隊本部 藤井三尉

褒賞状

第四陸曹教育隊 上級陸曹教育支援助教 本管中隊 加藤二曹

第四陸曹教育隊 普通科教育中隊支援助教 第一中隊 春谷三曹

本管中隊

連隊本部

第二中隊 竹岡二曹

第三陸曹教育隊 初級陸曹特技課程ATM支 第三中隊 宮迫三曹

中級施設機械操作

本管中隊 福田二 曹

中隊長賞

陸曹基礎英語課程 本管中隊 浅野三曹

ピアリーダーカウンセラー認定 第一中隊 夏目

栄 光

タイム 総合 リレーマラソン4㎞の部 部門別企業対抗の部 ルinいずも 春のラン&RUNフェスティバ 第 第二位 位

第三中隊 第二中隊 松本二曹、 朝倉二 清水一曹、 渡邉三曹 曹 小谷二 小牧三曹

第十三偵察戦闘大隊 山本三曹**、** 渡邊三曹 一曹



(元第三中隊所属) ました。江角 秋哉様、田中 健様 切手代を賜り、ありがとうござい 今年度における広報紙「よなご」の

駐屯地人文字 「475」の撮影を実施

駐屯地所在部隊の隊員等のうち、 屯地創設七十四周年を記念し、 撮影を行った。 約475名で「よなご」を数字で表 した||475]で人文字を作成し 人文字を撮影するにあたり、 米子駐屯地は、四月一日、

過ごしですか。

開花が約半月ほど遅れ十二年ぶり

今年は暖冬の影響により、桜の

の遅咲きだそうです。

ら新たなスタートを切った方もおら

令和六年度が始まり、この春か

後

記

れると思いますが皆さんはどうお

で当日を迎えた。 務区分等を明確にして万全の状態 連隊第一科が主導となり、事前 の打ち合わせ、予行及び各人の任

りました。

も上昇しお酒の美味しい季節とな

ゴールデンウィークも過ぎ、気温

員が、屋上から撮影するとともに、 で撮影を行った。 らの撮影を行いさまざまなパターン 連隊の保有するドローンで上空か する高いカメラ技術を保有する隊 撮影は、駐屯地広報室で勤務

掛け声のかわりに「ハナハナ」と言い

沖縄県の八重山地方では乾杯の

について書きたいと思います。

本日は、お酒を飲む時の「乾杯」

等に励みこれからも「地域と共に」 しこれからも精進していく 「また来たい米子駐屯地」を目指 駐屯地は、今後も訓練・業務

せを願うという意味があるそうで

また、たくさんのグラスが集まっ

に花を持たせるという意味や、幸 これは、諸説ありますが相手

とからこの言葉が沖縄で自然に生 た時の様子が花のように見えるこ

沖縄県全体に根付いたと言われて 副社長が提案し一九八七年頃から います。 もありこれは、オリオンビールの元 も乾杯の際に「カリー」という発声 まれたとも言われています。 沖縄地方には、「ハナハナ」以外に

チ」という音が「天使の拍手」と言 があり、シャンパンの弾ける「パチパ シャンパンですがこれには深い意味 れるそうです。 式の乾杯の際にはシャンパンが使わ から上へ流れる様子は「幸せがずっ また、シャンパンの注がれた泡が下 われ縁起がいいと言われています。 と続く」という意味もあり、結婚 結婚式の乾杯の定番といえば

合って「ハナハナ~」と言って全員で 乾杯してみてはいかがでしょうか? を行う際には、ぜひグラスを寄せ また、結婚式の乾杯を任された 皆さんも楽しいお酒の席で乾杯

際にはぜひシャンパンの知識を披露

